

風の窓

1. 増え続けている相談者 現在、登録している相談者は180名超です。この相談者に対して、2人の相談支援専門員で対応しています（内、1人は兼務職）袋井市との契約で実施している「一般相談」でかなりのボリュームがあり、子どもから大人までの計画相談（面談、モニタリング等）が加わることによって、既にキャパオーバーの状態が続いてきていました。課題として挙げ続けてきましたが、引き続き人員の確保に努めていきたいと思えます。

2. 介護保険との連携について かねてより懸案となっていた「65歳問題」＝介護保険への円滑な移行体制が、一定の成果を得ることができました。袋井市担当課や関係機関との協議がすすみ、65歳を過ぎた障がいのある人の介護保険サービス利用の道筋が具体的に拓けたことは、大変大きな成果であったと思えます。

引き続きその他の課題に対しても解決に向けて努力したいと思えます。

3. 中遠自立支援協議会・袋井支部について 実施が求められてきた、「日中支援型グループホームの評価」が本年度中に実施することができました。成果として確実な一歩であったと思えます。「拠点整備」という大変大きな課題への取り組みは始まったばかりですが、成果を得るには大きな労力を要すると想像されます。

※ 拠点整備：緊急時に24時間、365日いつでも障がいのある人の支援を実施する。